

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：26027  
学校名：真駒内桜山小

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、上体起こし、50m走、ソフトボール投げ	○前回の記録より下回った種目 長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅跳び	男子は筋力や投力が向上したが持久力や柔軟性に課題があり、女子は走力や持久力が伸びた一方で、筋力が低下傾向である。そして、男女共に柔軟性と敏捷性が低下しており、全国平均を下回る実態がある。また、体育の授業に楽しさを感じる女子児童の数が8割程にとどまり、1週間の総運動時間が1時間未満の男子が2割弱いる。今後は「三間」の創出や課題探究的な学習を通じて、運動の楽しさを実感させたり、体力向上を図る取組を進めたりする中で、子どもたちの日常的な運動習慣の高まりへと繋げていきたい。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 20mシャトルラン、50m走	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、ソフトボール投げ	
運動・スポーツへの意識、運動習慣	「体育の授業は楽しい・やや楽しい」と回答する子どもの割合 R6【男子】94.7% 【女子】95.3% R7【男子】92.9% 【女子】83.7%	体育の授業除く1週間の総運動時間が60分未満の「ほとんど運動をしない子ども」の割合 R6【男子】10.5% 【女子】14.6% R7【男子】17.6% 【女子】11.9%	

<b>三つの取組</b>	<b>①体育・保健体育等の授業の充実</b>	<b>②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組</b>	<b>③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組</b>
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------

<b>具体的な取組</b>	<p>「学びのコントローラーは自分」を核に、課題探究的な学習を推進する。</p> <p>「ダンスチームを活用した運動機会の創出事業」を活用し、体育的行事や授業、休み時間などで、運動の得意、不得意に関わらず、一人一人が楽しんで体を動かせる機会をつくっていく。</p> <p>また、一人一台端末を活用した撮影機能で動きの確認をしたり、対話を通じた思考の再構築をしたりすることを重視する。それによって自らの成長を自覚できる場を創出する。</p>	<p>「仲間・時間・空間（三間）」の創出を推進する。</p> <p>工事によりグラウンド利用が制限される中、多目的室を有効な場所として開放し、スライドボードやトランポリン等のトレーニングキットを設置することで、子どもが自発的に体を動かしたくなる環境を整備する。取組にあたっては「子どもの声を聴く」ことを重視し、活動への意欲が持続するよう、子どもの反応を踏まえてキットの構成や配置を定期的に更新する。</p> <p>休み時間等の限られた時間に、仲間と共に楽しみながら運動に親しむ機会を創出し、年間を通じた運動習慣の確立と体力の向上を図る。</p>	<p>各教科と関連付けた健康教育の推進</p> <p>各学年において、養護教諭と連携し、「学校保健年間計画」に基づいて、発達段階に応じた系統性のある学習を行う。「生命の安全教育」「目の保健指導」「歯の保健指導」、9月には「いのちを大切に作る月間」に合わせた道徳授業をするなどして、健康教育と関連付けた教育を行う。</p> <p>外部講師の活用</p> <p>「がん教育」「薬物乱用防止教室」等、外部講師による専門性の高い授業を行うことで、より深い学習内容に触れられるようにする。</p>
---------------	---	--	---

**家庭・地域との連携・協働**

学校からの情報発信を通して、家庭での運動習慣づけを促していく。また、学校での取組を学校だよりやホームページでお知らせしたり、出前授業等の保護者参観を募ったりすることで、取組や活動の内容、子どもたちの様子について保護者や地域の方々に周知し、共通理解を図る。保護者や地域の方々とともに子どもの育ちを支える体制づくりを大切にしていきたい。